

論壇

国際機関 即応能力に限界

新型コロナウイルスによるパンデミック（世界的大流行）のような危機的な状況に直面すると、世界の体制の脆弱さが表に出てくる。医療分野における国際機関にWHO（世界保健機関）がある。私が素人だからかもしれないが、今回、このWHOがどのような役割を演じているのかよく見えてこない。それどころか中国寄り過ぎると米国から批判されたり、台湾との関係でいろいろと軋轢が報道されたり、WHOが適切な役割を果たしているのか不安になってくる。

伊藤 元重

学習院大教授（国際経済学）

もともと、パンデミックのような危機的な状況では、結局はそれぞれの国が独自に動くしかない。国際協力などと言っているよりも、各国ともまずは自分の国の危機的状況を乗り切ろうと必死である。地震のような天災であれば、被害は特定の国や地域に限定される。パンデミックから見えてきたも

グローバル化と大国の協力

るので、他の国からの支援や国際協力が期待できる。しかし、世界の至る所で感染が広がっている現状では、協力どころか、まずは海外との交流をシャットアウトするところから始めなくてはいいから

るので、他の国からの支援や国際協力が期待できる。しかし、世界の至る所で感染が広がっている現状では、協力どころか、まずは海外との交流をシャットアウトするところから始めなくてはいいから

るので、他の国からの支援や国際協力が期待できる。しかし、世界の至る所で感染が広がっている現状では、協力どころか、まずは海外との交流をシャットアウトするところから始めなくてはいいから

の関係はさらに悪化している。米国のトップはチャイナウイルスとか武漢ウイルスと言って、中国を批判している。確かに、初期の中国の対応や情報の不開示は問題だったが、それを材料に米国は中国への批判を強めている。

ワクチン開発 改善の好機

さえも、このような状況である。地球環境問題などのように利害関係がもっと複雑なグローバルな問題となると、米中などの大国が協力して対応に取り組み、国際機関が本来あるべき機能を果たす必要がある。しかしこれは非常に難しいように見える。

一方、中国の方も米国に強く反発しているようだ。また、マスク外交などと呼ばれるように、今回の世界的パンデミックを利用して、国際関係を自国に有利にしようとする戦略に動いているように見える。パンデミック前からすでに悪化していた米中関係だが、パンデミック後にはそれがさらに悪化する気配となっている。

共通の敵であるウイルス問題で

悲観的な話ばかりしても仕方ない。パンデミックを契機に国際協力を強化するために、有効な課題がある。それはワクチン開発など、医療分野での協力だ。パンデミックをできるだけ早期に抑えるためにもワクチン開発は時間との競争でもある。だからこそ、世界の主要国が協力してこの難しい課題に対応する体制を構築してほしいものだ。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。